


第20回市民ドッジボール大会 開催要項

- | | | | |
|---|----|------------------------|---|
| 1 | 目的 | 市民の冬季運動促進と健康づくりを目的とする。 |  |
| 2 | 主催 | NPO 法人紋別市体育協会 | |
| 3 | 後援 | 紋別市教育委員会・紋別市スポーツ推進委員 | |
| 4 | 期日 | 令和3年1月24日(日) | |
- 受付 午前9時00分
開会式 午前9時30分 ※開会式終了後 競技開始
- | | | |
|----|----------|---|
| 5 | 会場 | 紋別市スポーツセンター アリーナ |
| 6 | 部門及び参加対象 | レギュラー部門 ※一般的な普通の試合
●小学生低学年の部(小学3年生以下) 参加可能人数 6名~10名
●小学生の部(小学6年生以下) 参加可能人数 6名~10名
●一般の部(制限なし) 参加可能人数 6名~12名
ダブルドッジ部門 ※ボールを2つ使って試合を行います。
●小学生低学年の部(小学3年生以下) 参加可能人数 6名~10名
●小学生の部(小学6年生以下) 参加可能人数 6名~10名
●一般の部(制限なし) 参加可能人数 6名~12名 |
| 7 | チーム編成 | ・3名まで補欠を登録することができます。
・チーム編成は特に指定無し。※男女混合、女子のみ、大人子供なども可 |
| 8 | 競技方法 | 本大会は特別ルールを用い実施する。
大会はトーナメント又はリーグ戦で行う。
小学生はソフトドッジボールを使用する。 |
| 9 | 申込み | 別紙申込み用紙に必要事項を記入の上、令和3年1月17日(日)までに下記までお申込み下さい。 |
| 10 | 表彰 | 各部門、優勝から3位まで。 |
| 11 | その他 | ①参加チームは別紙のルールを熟読のこと。
②2部門、両方に参加可能です。
③主催者で傷害保険に加入いたしますが、それ以上の補償について主催者は、一切責任を負いませんので、ご了承願います。また、プレー中及び練習中に発生した眼鏡・装飾品等の破損についても、一切責任を負いません。
④組合せは大会当日開会式終了後代表者が抽選を行う。
⑤ルール及び出場申込みに関する問合せは下記までお願いします。 |

12 新型コロナウイルス感染拡大防止対策について

- ・開催当日は必ず、検温して体調に問題がある場合は参加を控えて下さい。
- ・入館する際に、必ず消毒液で消毒してからお入り下さい。
- ・大声での応援等につきましては、控えるようにして下さい。
- ・飲み物については、各個人で必ず用意して、決して回し飲みはしないで下さい。
- ・プレー中以外の時間は、常に距離をとって休憩するように心掛けて下さい。
- ・プレー中以外は、なるべくマスクの着用をして下さい。

【申込先・問い合わせ】

〒094-0013 紋別市南が丘町7丁目47-1

NPO法人紋別市体育協会（紋別市スポーツセンター内）

TEL 0158-24-7016 FAX 0158-23-7011

市民ドッジボール 大会ルール

1. チーム

- (1) 試合は一般の部（6名～12名）小学生の部（6名～10名）で行う。
- (2) また、各チームとも3名まで補欠選手を登録することができる。
- (3) 試合途中の選手の交代は負傷者等が出たときのみ認められる。
- (4) 一般の部の編成は自由（男女、大人子供、女子のみ）など

2. 試合時間及び競技方法

試合時間は1試合5分1セットとする。セット数は参加チーム数による（1セット又は3セットマッチ）。

試合はリーグ戦又はトーナメント戦で実施する。方式は参加チーム数による。

3. 勝敗の決定

勝敗は試合時間内に一方の内野選手がいなくなるか、試合終了時点で両チームの内野選手の多いほうが勝ちとなる。

また、**内野の数が同数の場合は試合終了時点の内野選手でジャンケンを行い、勝敗を決定する（決勝戦のみ5分間の延長戦を行い、それでも同数の場合はジャンケンで決める）。**

4. 用具

ボールは、J・D・B・A公認球を使用する。

※小学生とダブルドッジは柔らかい指定ボールを使用する。

下記に定める用具の使用は、禁止する。

- (1) スパイクシューズ
- (2) グローブ
- (3) 滑り止めスプレー・松ヤニ等の滑り止め
- (4) その他審判が危険と認めたもの

5. 試合の開始と終了

試合はジャンプボールで始まる。内野からジャンパーへの第1投の攻撃はできない。

終了は審判のホイッスルで終了とする。

6. 抗議・アピール

試合の間及び試合以外において審判に抗議することは選手・監督・応援者いずれもできません。

7. 攻撃とアウト・セーフの判定

内野の選手が相手のノーバウンドの投球を取れなかったり、当てられた場合はアウトとなり、外野へ移動します。

ワンバウンドのボールが当たったり、顔や頭にボールが当たった場合はセーフです。

1回のノーバウンドのボールが、一度味方に当たり、そのボールが床に落ちる前に味方の内野がキャッチした場合はセーフとなるが、2人とも落とした場合は最初の1人がアウトになります。

8. 元外野

元外野は1～11名の間でチームごとに自由に選べます。但し、元外野も一度相手の内野をアウトにしなければ、自分の内野には戻れない。

9. Wパス

内野同士・外野同士のパス交換は禁止です。(相手ボール)

10. 内外野への移動

試合中の内外野の移動はコートの外及び審判の外側を通る。

11. ボールデッドとボールの支配権 ※小学生とダブルドッジはボールデッド無し

試合中内外野のラインの外に出た場合、ボールデッドとなります。

(1) 最後にさわったのが、内野選手の場合～相手チームの内野ボールで再開。

(2) 最後にさわったのが外野選手の場合～自分の外野ボールになります。

但し、味方内外野の投げたボールが誰にも触れることなくボールデッドとなった場合相手の内野ボールになります。

(3) ボールデッド後、試合を再開する場合はボールを持ったプレイヤーはボールを頭上に上げ、主審のホイッスルによる合図でゲームを再開する。

12. 内野復帰の放棄

外野の選手が相手をアウトにしても下記の場合は内野に戻れません。

(1) アウトを取ってから外野の中でボールに触ったとき。

(2) アウトを取ってからすぐに内野に戻らなかったとき。

13. ファールとボールの支配権

(1) オーバーライン

ボールを投げるときにラインを踏んだり、超えてはならない(投球後も)。相手の内野ボールとなる。またボールを取るときも同様である。この場合は相手の内野又は外野のボールとなる(※1回目は、注意のみとする)。

(2) 5秒ルール ※流れを考慮し審判の判断とする

ボールを持ってから5秒以内に投げなければならない。この場合は相手の内野ボールとなる。

(3) タッチ・ボディ

試合中、わざと相手の選手にふれてはいけない。この場合は相手の内野又は外野のボールとなる。

(4) W内野パス・W外野パス

内野同士・あきらかな外野同士のパスは禁止。 この場合は相手の内野ボールとなる。

(5) ヘッドアタック

相手の頭や顔を攻撃してはならない。この場合は相手の内野ボールとなる。

(6) ダブルタッチ

アウトになったプレイヤーが外野への移動中に自陣内で自ら再びボールに触れてはならない。この場合は相手の内野ボールとなる。

(7) ホールディング

インプレー中、相手チームのエリアに転がっているボールに触れてはならない。但し、空中にあるボールはこの限りではない。

14. 危険行為

故意に強く相手にぶつけた場合は、危険行為とみなし、即退場とする。

15. ここに定められていること以外に起きたものについては、審判の指示に従うものとする。